

第 171 回 学長定例記者会見

日時：令和6年9月26日（金）11：00 ～ 11：30

場所：広島大学 広仁会館 中会議室（広島市南区霞 1-2-3）

※ テレビ会議システムによる配信は行わない

※ YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 広島大学創立 75+75 周年「記念式典・記念事業」を開催します
(11月2日、3日開催)
2. 医学部疎開之地に記念碑を建立 安芸高田市の高林坊で除幕式を執り行います
(10月14日実施)

【お知らせ事項】

1. 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」の取組に関する報告
2. 観光庁に採択された MICE 誘致事業の実施
～横川商店街ではしご酒と路面電車体験イベント～
3. 第5回きてみんセミナー 宮島の自然を守る取組
小学校高学年以上を対象とした市民セミナー（10月6日開催）
4. 医療政策室・ライティングセンター共催セミナー「AI が論文を書けるか?!」を開催（10月22日、23日開催）

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和 6 年 10 月 28 日

場所： 広島大学 東広島キャンパス



第 171 回 学長定例記者会見 発表事項 1

令和 6 年 9 月 26 日

広島大学創立 75+75 周年 「記念式典・記念事業」を開催します

広島大学は今年、1949 年の開学から 75 年、最も古い前身校である白島学校創立からの 75 年を加え、150 周年となる節目の年を迎えました。

2007 年の校友会設立以来、毎年 11 月の第 1 土曜日に、東広島キャンパスにおいて、広島大学ホームカミングデーを開催しておりますが、今年は周年を記念し“広島大学創立 75+75 周年「記念式典・記念事業」”として、11 月 2 日(土)・3 日(日)の 2 日間にわたって、卒業生、元教職員、地域の皆様にもご参加いただける形で開催いたします。

当日は、サタケメモリアルホールをメイン会場に、記念式典(記念動画上映、大学歌合唱等)、広島大学統合報告書 2024 の報告会を行い、記念講演者として、フランスの歴史人口学者・家族人類学者であるエマニュエル・トッド氏、総合地球環境学研究所所長(元京都大学総長) 山極壽一氏、日本人女性初の国連事務次長 中満泉氏のお三方をお迎えいたします。

また、本学教員による先端研究講演として、「宇宙」をテーマに 2 人の教員による講演を予定しております。

・「はやぶさ 2」初期分析(固体有機物チームリーダー) 藪田ひかる 教授

・「広大名講義 100 選」動画 239 万回再生 高橋徹 特定教授

東広島キャンパス内では学部・研究科等企画、学生主体の大学祭も同日開催します。

また、10 月 26 日(土)には、広島市内の二つのキャンパスでホームカミングデーを開催します。霞キャンパスでは、脳科学者の池谷裕二氏による特別講演会と学生主体の霞祭を開催いたします。東千田キャンパスでは、東京大学・東北大学名誉教授である河上正二氏による記念講演、学生主体の千田祭を開催するとともに、広島市、千田小学校、地域団体・企業等と連携したイベント等を予定しております。

本学が育んできた伝統と新たな未来を実感していただける多くのイベントを予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

※詳細内容については、添付しております、チラシ、
校友会だより第 36 号(1～6 頁)をご覧ください。

【お問い合わせ先】

広島大学創立 75 周年記念事業推進事務室
TEL:082-424-5693





2024



漕ぎ出せ混沌の海に 走れ創造の彼方へ
— 100年後にも世界で光り輝く大学へ —

参加無料

広島大学創立75+75周年

記念式典・記念事業

2024年11月2(土)・3日(日・祝) 両日10:00～(予定)

広島大学東広島キャンパス サタケメモリアルホール 他

サタケメモリアルホールへのアクセスはこちら▶



プログラム ※プログラムは一部変更となる場合があります

11/2(土) 10:00(予定)～

司会・進行 久保田 夏菜 フリーアナウンサー / 広島大学文学部卒業

記念式典

学長挨拶 越智 光夫 広島大学長

報告会

『広島大学統合報告書2024』

記念講演

エマニュエル・トッド氏 歴史人口学者・家族人類学者
テーマ：西洋の道徳的危機に直面する今日の日本

山極 壽一氏 総合地球環境学研究所 所長
テーマ：教育の本質と国立大学の未来

トークショー

田中 卓志氏 アンガールズ / 広島大学工学部卒業



越智 光夫学長



エマニュエル・トッド氏



山極 壽一氏



田中 卓志氏

記念祝賀会 16:00～17:30(予定) [要申込、10月1日火受付開始]

場所：ミライクリエ(フェニックス国際センター)
会費：5,000円(当日会場にて支払い)



◀詳細・祝賀会申込
(10/1火受付開始)
はこちら

11/3(日・祝) 10:00～12:00(予定)

司会・進行 河村 綾奈 フリーアナウンサー / 広島大学法学部卒業

記念コンサート

教育学部音楽文化系コースによる金管十重奏

LOOK広島大学

荻田 ひかる教授 大学院先進理工系科学研究科
テーマ：宇宙に生命の起源を求めて
～小惑星リュウグウの砂粒がおしえてくれたこと～

高橋 徹 特定教授 大学院先進理工系科学研究科
テーマ：宇宙の始まりはどこまで分かったか
～加速器で解き明かす宇宙と物質の起源～

記念講演

中満 泉氏 国連事務次長・軍縮担当上級代表



荻田 ひかる教授



高橋 徹特定教授



中満 泉氏

同日開催 イベント

11月2・3日/両日

- ホームカミング広場 学生ステージ、連携市町の物産展ブース等
- 学部・研究科等企画
- 大学祭

11月3日のみ

- 教育学部企画オペラ 15:30～18:30(予定)
- 保護者向け「広島大学地域懇談会」

記念講演 / 講演者プロフィール

エマニュエル・トッド Emmanuel Todd 歴史人口学者・家族人類学者

1951年フランス生まれ。国・地域ごとの家族システムの違いや人口動態に着目する方法論により、『最後の転落』(76年)で「ソ連崩壊」を、『帝国以後』(02年)で「米国発の金融危機」を、『文明の接近』(07年)で「アラブの春」を、さらにはトランプ勝利、英国EU離脱なども次々に“予言”。著書に『エマニュエル・トッドの思考地図』、『第三次世界大戦はもう始まっている』など多数。今年10月、最新作『西洋の敗北』の日本語版を刊行。

山極 壽一 Juichi Yamagiwa 総合地球環境学研究所 所長

1952年東京都生まれ。京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学。理学博士。京都大学大学院理学研究科教授、同研究科長・理学部長を経て、第26代京都大学総長。国際霊長類学会会長、日本学術会議会長などを歴任。2021年から現職。人類進化論専攻。屋久島で野生ニホンザル、アフリカ各地で野生ゴリラの社会生態学的研究に従事。南方熊楠賞、アカデミア賞受賞。著書に『人生で大事なことはみんなゴリラから教わった』(20年)など多数。

中満 泉 Izumi Nakamitsu 国連事務次長・軍縮担当上級代表

早稲田大学法学部卒業。米国ジョージタウン大学大学院修士課程修了(国際関係論)。国連難民高等弁務官事務所、International IDEAなどで様々なポストを歴任後、一橋大学教授、国際連合平和維持(PKO)局政策・評価・訓練部上級部長、同局アジア・中東上級部長、国連開発計画(UNDP)危機対応局局長・国連事務次長補、難民・移民サミットのフォローアップに関する特別顧問代行を経て、2017年から現職。

LOOK 広島大学 / 講演者プロフィール

藪田 ひかる Hikaru Yabuta 広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授

筑波大学大学院博士課程化学研究科修了。博士(理学)。カーネギー研究所ポストドクトラルフェロー、大阪大学助教、広島大学准教授を経て、2019年度から現職。現在、日本学術会議会員を務める。専門は有機宇宙地球化学、アストロバイオロジー。はやぶさ2では着陸地点選定、初期分析(固体有機物チームリーダー)を担当。

高橋 徹 Tohru Takahashi 広島大学大学院先進理工系科学研究科 特定教授

名古屋大学大学院理学研究科修了。理学博士。米国スタンフォード線形加速器センター博士研究員、広島大学助手を経て、2021年から現職。専門は加速器を使った素粒子実験。特に光子衝突型加速器の研究開発。Breakthrough Prize in Fundamental Physics (K2K 共同実験グループとして)、広島大学長栄誉教育賞受賞。

第73回広島大学大学祭

スペイン広場特設ステージで行われるさまざまな催しや屋内外に並ぶ模擬店、サークルによる展示などを企画しています。夜には打ち上げ花火も予定しています。



●日 時 / 2024年11月2日(土)、3日(日)・祝 10:00~20:00

●場 所 / 広島大学東広島キャンパス総合科学部周辺



◀大学祭実行委員会WEBサイト
<https://www.hu-festival.com/>

※最新の開催情報については、大学祭実行委員会WEBサイトをご確認ください。

ホームカミング広場 / 迎える広場ステージ

在校生がステージやブースで来場者をおもてなしします。連携協定を結ぶ広島県内市町の特産品やグルメもあります！

●日 時 / 2024年11月2日(土)、3日(日)・祝 9:30~17:00

●場 所 / 広島大学サタケメモリアルホール周辺、
北1コープショップ・食堂前広場

●ホームカミング広場 / 広島大学サタケメモリアルホール周辺



●迎える広場ステージ / 北1コープショップ・食堂前広場



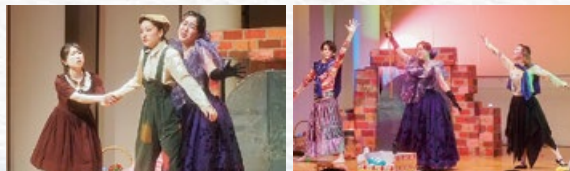
教育学部企画オペラ上演

広島大学大学院人間社会科学研究科・教育学部の学生・教員がオペラ「ヘンゼルとグレーテル」を上演します。今回は広島大学75+75周年記念事業として県内の子どもたちや保護者と共演することにより、盛り上げていきます！

オペラ「ヘンゼルとグレーテル」上演 ファンパーディング作曲

●日 時 / 2024年11月3日(日)・祝 開演 15:30~(開場 15:00~)

●場 所 / 広島大学サタケメモリアルホール



「創立75+75周年特設サイト」はこちらからご覧ください。

広島大学創立75+75周年記念事業 第18回広島大学ホームカミングデー特別講演会

講師

東京大学大学院薬学系研究科 教授
いけがや ゆうじ

池谷 裕二 先生

テーマ

「潜んだ能力を開拓する 脳補完プロジェクト」

2024年 **10**月**26**日(土)
15:00~16:30
(14:15受付開始)

定員 **400**名 ※先着順

広島大学 **霞** キャンパス
(広島市南区霞1-2-3)
凌雲棟5階 R501



※キャンパスへのアクセスはこちら→



【講師略歴】

1998年に東京大学にて薬学博士号を取得。2002~2005年のコロンビア大学(米ニューヨーク)留学をはさみ、2014年より現職(東京大学大学院薬学系研究科 教授)。

専門分野は神経生理学で、脳の健康について探究している。

また、2018年よりERATO脳AI融合プロジェクトの代表を務め、AIチップの脳移植によって新たな知能の開拓を目指している。

文部科学大臣表彰 若手科学者賞(2008年)、日本学術振興会賞(2013年)、日本学士院学術奨励賞(2013年)などを受賞。

著書に『海馬』『記憶力を強くする』『進化しすぎた脳』などがある。

講演会申込
フォーム

参加費は無料！一般の方も大歓迎！



申込は
こちら！

<https://forms.office.com/r/nFcjd1TFYJ>

【お問い合わせ先】

広島大学霞地区運営支援部総務グループ
082-257-5013
kasumi-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

大学公式HP





令和 6 年 9 月 26 日

医学部疎開之地に記念碑を建立

安芸高田市の高林坊で除幕式を執り行います（10 月 14 日）

2025 年は、広島大学医学部創立 80 周年と、医学部同窓会組織である広仁会の創立 70 周年を迎える節目の年になります。歴史を振り返ると、今日の広島大学医学部および広仁会があるのは、1945 年 8 月 5 日、医学部の前身である広島県立医学専門学校開校式直後の浄土真宗高林坊への疎開なくしてはありえず、この日を起点として、広島大学医学部は今日まで歩みを進められてきております。2025 年の節目を迎えるにあたり、高林坊に深甚なる感謝の意を表して、記念碑を建立いたします。

つきましては、下記のとおり除幕式を行いますので、ご案内申し上げます。

記

【日時】 令和 6 年 10 月 14 日（月祝） 14 時

【場所】 浄土真宗本願寺派 石丸山 高林坊
所在地：安芸高田市甲田町高田原 929
電話：0826-45-2064

【発起人】

第 12 代広島大学長	越智光夫（昭和 52 年卒）
第 30 代広島大学医学部長	粟井和夫（昭和 61 年卒）
第 17 代広島大学医学部医学科広仁会会長	小林正夫（昭和 53 年卒）

【記念碑】 幅 170 cm×奥行 110 cm×高さ 124 cm

広島県立医学専門学校第一回卒業生の赤松和彦氏による絵をもとに
昭和 20 年 8 月 高林坊寺院本堂「空腹と葛藤しながら受ける授業」
の陶板を埋め込み、医学部の歴史と高林坊とのゆかりを碑文に記します。



浄土真宗本願寺派 石丸山高林坊（高林坊提供）

※高林坊の画像提供をご希望の方は以下へご連絡ください。

広島大学広報室

Tel：082-424-3749

E-mail：koho@office.hiroshima-u.ac.jp

【お問い合わせ先】

広島大学霞地区運営支援部総務グループ

Tel：082-257-5606

E-mail：kasumi-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp





令和 6 年 9 月 26 日

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (通称 J-PEAKS)」の取組に関する報告

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(通称 J-PEAKS)」に採択されました。

本学は、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線(UV)領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムを形成し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

地域中核拠点の形成に向けた本学のさまざまな取組みについて、最新情報をお知らせします。

(1) 食の安全に関わる新しい技術や手法の導入時における倫理的・法的問題、社会的課題に関するセミナーの開催

本学は J-PEAKS での取組みを通じて強力に異分野融合・連携研究を進めています。これらの研究は革新的な成果をもたらすと同時に、新たな倫理的・法的・社会的課題を生み出す可能性があります。ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)とよばれる、このような課題に取り組むため、本学は令和 4 年度に共創科学基盤センターを設置し、持続可能な社会の実現に向けた研究を推進しています。

この度、同センター主催のセミナー「食のリスクを正しく理解するための科学コミュニケーション」を開催します。講演者の山崎毅氏は「NPO 法人 食の安全と安心を科学する会」の理事長であり、全国各地で食にまつわる講演、イベントなどを積極的に開催されています。食のリスクについて関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしています。

- ・開催日時：10 月 10 日(木) 16:30~18:00
- ・講演者：山崎 毅氏(NPO 法人食の安全と安心を科学する会 理事長)
- ・開催形式：対面・オンラインのハイブリッド形式
- ・場所：本学フェニックス国際センター ミライクリエ多目的スペース
- ・定員：対面 60 名・オンラインは制限なし
- ・申込：本学共創科学基盤センターHPより申込

(2) 科学新聞(2024 年 8 月 30 日付)掲載ータンパク質と生体膜の相互作用を放射光により可視化ー

生体膜に結合するタンパク質は疾患の発症や物質輸送など多岐にわたる生命現象に関わっていますが、これまで、生体膜とタンパク質の動的な相互作用の可視化は困難でした。本学放射光科学研究所の松尾光一准教授と本学大学院先進理工系科学研究科の橋本聡さん(大学院生)らは、放射光を利用した真空紫

外円二色性装置を用いることによってこれらの構造変化を分子レベルで解明し、国際学術誌「Analytical Chemistry」（6月22日付）に発表しました。

この度、上記の研究成果が、科学技術を専門に取り扱う新聞「科学新聞」に掲載されました。松尾准教授は同紙上で「今回、構築したシステムによる相互作用の可視化は、これまで重要であったが、解明できなかった様々な生命現象や疾患のメカニズムを分子レベルで理解するのに役立ち、その用途や応用研究は限りなく広い」と述べています。今後のさらなる研究の発展が期待されます。

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）とは？

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的としている。Program for Forming Japan's Peak Research Universities の通称。広島大学は2023年度に採択され、2028年度までの6年間で総額55億円の財政支援が予定されている。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室 未来共創科学研究本部 研究戦略部 研究戦略グループ 前田 TEL:082-424-5656 Mail: gakujutu-strategy-gl@office.hiroshima-u.ac.jp





令和 6 年 9 月 26 日

観光庁に採択された MICE 誘致事業の実施
横川商店街でのはしご酒と路面電車体験イベント

このたび、観光庁が実施する「国際会議開催地としての魅力向上実証事業」に本学教育学部が申請した「横川商店街を使用したはしご酒の体験および路面電車を活用した体験イベント」が特色ある新規性の高い MICE^{※1} のモデル誘致事業として採択されました。

この事業は、国外競合都市との差別化を図り、開催地の魅力を向上させるため、ユニークベニュー^{※2} の活用や地域の資源を活用した国際会議参加者特典プログラムの実証を通して、継続的に提供するための体制構築に取り組むものです。

採択された「横川商店街を使用したはしご酒の体験および路面電車を活用した体験イベント」では、10 月 23 日（水）から 10 月 25 日（金）に本学の東千田キャンパスおよび東広島キャンパスで開催される INEI^{※3} 年次総会の懇親会を、横川商店街や広島電鉄と協力して実施します。横川駅前広場での日本伝統文化である獅子舞演舞や横川商店街でのはしご酒体験、貸切路面電車での移動などで海外の方をおもてなしする企画です。

※1 MICE：

多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。地域への経済効果、ビジネス・イノベーション機会の創造、国・都市の競争力向上などの効果がある。

※2 ユニークベニュー：

「博物館・美術館」「歴史的建造物」「神社仏閣」「城郭」「屋外空間（庭園・公園、商店街、公道等）」などで会議・レセプションを開催することで、特別感や地域特性を演出できる会場。

※3 INEI：

広島大学教育学部が加盟する各国トップレベルの教育学部／教育学研究所等による国際研究ネットワーク「International Network of Educational Institutes」。INEI 年次総会は教育学に関する実践と成果を集約し、国際的な教育の発展を目的として行われており、共同研究の報告や方向性についての議論、シンポジウムや交流会などを実施している。

今回は、本学を含めた 9 カ国、9 大学から学部長や関係教職員など約 60 人が参

加し、Our Missions: Teacher Education for Peace, Local Knowledge, and Future Generations をテーマとした研究交流会が行われる。

【お問い合わせ先】

教育学系総括支援室

平田 和正

TEL:082-424-7196 FAX:082-424-3478



令和 6 年 9 月 26 日

第5回きてみんセミナー
宮島の自然を守る取組
小学校高学年以上を対象とした市民セミナー

瀬戸内 CN 国際共同研究センターは主に広島大学の統合生命科学研究科の教員で構成されており、陸、海の両面で二酸化炭素を貯留する取り組みに加え、貯留することにより生じるバイオマスの有効利用を図るため、カーボンリサイクル、グリーンカーボン、ブルーカーボンに関する研究を行っています。

この度 10 月 6 日(日)に、当センターのグリーンイノベーション部門宮島自然植物実験所の坪田博美准教授が、小学校高学年以上を対象とした市民セミナー「宮島の自然を守るとりくみ」を開催します。

宮島といえば厳島神社や朱の大鳥居などが思い浮かびますが、学術的には植物を含む自然も宮島の重要な構成要素です。宮島は広島県の約 0.4 %の面積ですが、広島県で記録された植物種の約 1/3 が報告されています。また、国の天然記念物である瀨山原始林をはじめ、人為的な影響が少なく状態の良い森林が残っています。

本セミナーでは、宮島の植物と自然の基礎的な話を中心に、現在行われている自然を守るとりくみについてお話します。生活の中で「生物多様性（条約）」や「緑化」、「ランドスケープ」など自然環境の保護に関するワードを目にすることも多いと思いますが、実際に自然保護について考える機会は少ないのではないのでしょうか？専門家のデータに基づいた情報や考え方に触れ、「自然保護」について考える機会にしてください。

記

日 時：2024 年 10 月 6 日(日) 10:00～12:00

会 場：広島大学きてみんさいらボ

(広島駅南口 広島 JP ビル(広島市南区松原町 2-62) 2 階)

講 師：坪田 博美 広島大学 瀬戸内 CN 国際共同研究センター 准教授

対 象：小学校高学年以上

参加費：無料

定 員：25 人

主 催：広島大学 瀬戸内 CN 国際共同研究センター

申込方法：ポスターの QR コード又は下記のリンクより 10 月 3 日(金)までにお申込ください。

申し込みフォーム：<https://forms.office.com/r/2cN9fjKV3y?origin=lpLink>

【お問い合わせ先】

広島大学瀬戸内CN国際共同研究センター
グリーンイノベーション部門 宮島自然植物実験所（担当：内田）
Tel：0829-44-2025
E-mail：uchishin@hiroshima-u.ac.jp



第5回きてみんなセミナー 宮島の自然を 守るといくみ

参加費
無料

講師



広島大学
瀬戸内 CN 国際共同研究センター
宮島自然植物実験所 准教授
坪田 博美 先生

対象 小学校高学年以上

お申込 右の QR コード
よりお申込み



開催概要

10/6 (日)

10:00 ~ 12:00

会場：広島大学きてみんなさいラボ
(広島駅南口、JP ビル2階)

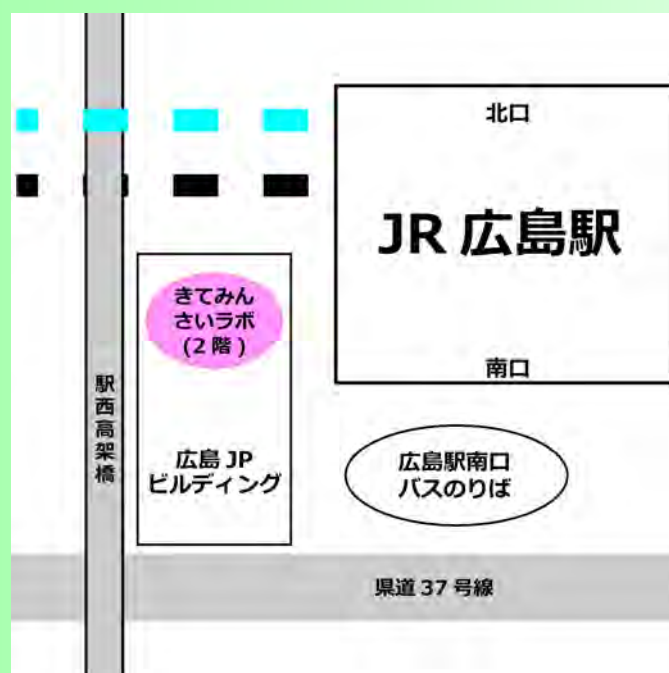
定員：25名(先着)

費用：無料

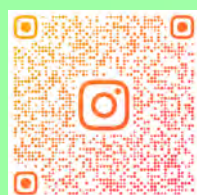
対象：小学校高学年以上

(保護者の方は立ち見になる可能性
がございます。)

問合せ：miyajima@hiroshima-u.ac.jp



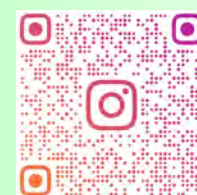
瀬戸内 CN
国際共同研
究センター



瀬戸内 CN
国際共同研
究センター
Instagram



広島大学
デジタル
ミュージアム



宮島自然
植物実験所
Instagram

主催：広島大学 瀬戸内 CN 国際共同研究センター



令和 6 年 9 月 26 日

医療政策室・ライティングセンター共催セミナー
「AI が論文を書けるか?!」を開催

ChatGPT のリリース以降、生成系 AI の活用が世界中で急速に広がっています。大学の教育・研究現場でもその活用が進んでいますが、適切な活用方法については議論が必要です。本学では、生成系 AI の仕組みやメリット・デメリット、情報リテラシーを理解し、様々な場面で活用する能力を身につけるとともに、進化する AI 技術の知識と求められる能力を絶えず向上させることを基本方針としています。

このセミナーは、最新の生成 AI 技術の可能性と限界、そして学術研究における適切な使用方法について理解を深めることを目的としています。最新の生成 AI ツールの長所短所を比較検討し、研究と論文執筆における生成 AI の活用と倫理的配慮について議論します。

◆日時・会場

【東広島キャンパス】

日時：2024 年 10 月 22 日（火）15:30-17:00

会場：ミライクリエ 2 階大会議室&オンライン

使用言語：日本語

【霞キャンパス】

日時：2024 年 10 月 23 日（水）17:30-18:30

会場：医学部第 4 講義室

使用言語：日本語

◆講師：トム・ガリー（Tom Gally）

東京大学名誉教授、同大学グローバル教育センター特任教授

◆対象：広島大学の研究者 ※大学院生も参加可

◆事前申込：必要（チラシの QR コードよりお申し込みください）

◆当日の取材：可能（セミナーの傍聴、講師や受講者へのインタビューなど）。

ただし、講師へのインタビューはセミナーの直前と直後をお避けください。

なお、取材をご希望の際は、以下のお問い合わせ先へご連絡ください。

【お問い合わせ先】

広島大学ライティングセンター

未来共創科学研究本部 研究戦略部 研究戦略推進部門
（ライティングセンター担当：荒木）

TEL: 082-424-4469

Email: wrc-research@office.hiroshima-u.ac.jp



W
R
C

AIが論文を書けるか?!

東広島キャンパス

「学術論文執筆における生成AIの活用と倫理的配慮」

霞キャンパス<医系科学研究科・病院合同FD>

Part 1「研究・英文論文執筆などにおける生成AIの活用」

Part 2「研究者はどこまで生成AIを使用可能であるか」

対象：広島大学の研究者 ※大学院生も参加可
対面参加のみ新任教員研修プログラム対象

日時・会場

東広島キャンパス

2024年10月22日（火）【日本語】15:30 - 17:00

会場：ミライクリエ2階大講義室 & オンライン

霞キャンパス

2024年10月23日（水）

【英語】15:30 - 16:30 【日本語】17:30 - 18:30

会場：医学部第4講義室

※英語と日本語の講演内容は同じです。

この3つのセミナーでは、研究と学術論文執筆における生成AIの活用と倫理的配慮について議論します。東広島キャンパスでは日本語で90分のインタラクティブなセッションを行い、一般的な学術論文執筆における生成AIの利用と課題を探ります。霞キャンパスでは、医学分野に特化した内容で、日本語と英語で各60分のセッションを実施します。すべてのセッションにおいて、最新の生成AIツールを紹介し、それぞれの長所と短所を比較検討します。これらのセミナーを通じて、参加者は最新の生成AI技術の可能性と限界、そして学術研究における適切な使用方法について理解を深めることができます。

講師



トム・ガリー Tom Gally

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部の教授として、アカデミック英語プログラムの開発・運営に携わった。現在は東京大学名誉教授、同大学グローバル教育センター特任教授。学術リデラシーの視点から、大学における英語教育と機械翻訳・生成AIの問題について情報発信を行っている。個人サイト：gally.net

参加登録はこちら

